

2023 年度 学修プログラム評価報告書

学修プログラム評価委員会

2023 年 9 月 28 日に実施した学修プログラム評価委員会での議論を受け、藤田医科大学医学部の学修プログラムについて、以下のとおり評価したので、報告する。

I. 昨年度の学修プログラム評価について

1. 教育内容・方法の評価について

- ①カリキュラムマップの、主に低学年部分に配置されている基礎科目や臨床科目は、これまで徐々に水平統合・垂直統合が進んでおり、一定に評価できる。
- ②次年度の新モデル・コア・カリキュラムへの対応と併せ、さらなる授業の効率化を推進すべきである。
- ③多くの授業でアクティブ・ラーニングを取り入れていることは評価できるが、その効果を学修成果として把握する仕組みは、今のところ明確にはないため改善が望まれる。
- ④臨床実習では、コロナ禍において一時的に見学型に切り替えていたが、感染対策が緩和されつつあった時期でも、本来の参加型臨床実習に戻すことができていなかった診療科があり、学生にとって貴重な学修機会が失われた可能性があることは、今後改善の余地がある。
- ⑤解剖実習においては、欧米ではシミュレータを活用したドライ実習が主流になっている。これにより、様々な角度から繰り返し観察することが可能であるため、シミュレータの導入についての検討が必要と思われる。
- ⑥学生の研究マインド醸成の向上を図るため、引き続き研究室配属としての「医学研究演習」及びSRP（スチューデントリサーチャープログラム）並びに学会登録費等の大学負担を推進すべきである。このことにより、学生が積極的に学会に参加し、学会発表や論文発表を行うことが望まれる。

2. 学修プログラム評価の方法について

- ①2022 年度卒業生アンケート（3 年間の経年比較）では、「学生ホール」に対する満足度が下降しているものの、「専門職連携」「医学および関連領域の知識」「地域社会への貢献」は上昇しており、全体として高い満足度が得られていることは評価できる。
- ②2022 年度卒業生を対象とした卒業コンピテンス・コンピテンシー到達度調査（学生自己評価）では、独創的探究心が他の項目と比較すると若干低く、改善が必要と考えられる。
- ③卒業生の初期研修先アンケートの回答方法（選択肢の設定）を改善し、質問の意図が研修先の指導医に対して、より正しく伝えられるようにしたことは評価できる。

II. 学修プログラム評価の今後のあり方について

1. 学修プログラム評価委員会の構成及び開催方法について

JACME の 2 巡目審査の結果、エリア 7 で「適合」は 1 項目のみで、その他の項目は「部分適合」となっており、学修プログラム評価の実質化を図るため、以下の改善が必要である。

- ①学修プログラム評価委員会の独立性を一層高めるため、委員会の構成及び開催方法を再検討すること
- ②学部へ渡す議事録では発言者の匿名化（匿名加工）を行うことを検討すること

なお、多様な先進的な学修プログラム評価について認識を深めるため、評価委員会が医学部とともにこれらについてさらに学習を進め、知見を深めることも検討すべきである。

Ⅲ. その他

1. 卒業生に対する支援

- ①学修プログラムの延長上に位置する卒業生の生涯にわたる活動を支援するとともに、母校としてそれをきちんと評価することが大学の発展にも繋がるものである。このことから、大学と卒業生の連絡を密にするために、卒業生に生涯 E-mail address を付与することを検討すべきである。

以上

（使用した資料）

- 01_JACME 領域 7「教育プログラム評価」
- 02_医学部学修プログラム評価に関する規程（改定後）
- 03_2022 年度学修プログラム評価報告書
- 04_卒業生研修先アンケート変更内容
- 05_医学部アセスメント計画書
- 06_2022 年度卒業生の卒業時コンピテンス・コンピテンシー達成度自己評価
- 07_2022 年度卒業生の半年後アンケート（卒業生）
- 08_2022 年度卒業生の半年後アンケート（指導医）
- 09_2022 年度学生による学年別授業評価
- 10_2022 年度学生による学年別達成度自己評価
- （参考資料 1）次年度カリキュラム変更案
- （参考資料 2）卒業コンピテンス・卒業コンピテンシー変更案
- （参考資料 3）現行のカリキュラムマップ

（学修プログラム評価委員会）

委員長：大 谷 尚	名古屋経済大学人間生活科学部 特任教授（名古屋大学名誉教授）
副委員長：八 谷 寛	名古屋大学大学院医学系研究科副研究科長 学部教育委員会委員長
委 員：岩 倉 加代子	患者代表
今 井 英 夫	本学医学部父母の会会長
永 津 俊 治	本学医学部名誉教授 医学部アドバイザー
原 田 信 広	本学名誉教授
学生委員：	M5 学生
	M5 学生